

島根県立農林大学校

学校要覧
2018

Shimane
Prefectural College
for
Agriculture
and
Forestry



沿革

- ◆昭和 10 年 三瓶農民道場設立、同じ年に島根県森林道場(旧吉田村杉戸)が開設、翌年県営化
- 昭和 20 年 開拓増産修練農場 に改称
- 昭和 21 年 三瓶修練農場 //
- 昭和 23 年 三瓶農事指導所 //
- 昭和 24 年 三瓶経営伝習農場 //
- ◆昭和 26 年 三瓶経営伝習農場を廃止し、
農業経営研修所を農事試験場に併設
- ◆昭和 38 年 農林総合研修所を出雲市に新設
附属施設
養蚕研修所
畜産研修所
林業研修所
- ◆昭和 54 年 農林総合研修所を廃止し島根県立農業大学校新設
- ◆昭和 56 年 大田市に移転
- ◆昭和 57 年 農業大学校に養成部門、研修部門を置き新農業大学校となる
- ◆平成 18 年 森林管理科飯南町(中山間地域研究センター内)へ移転
- ◆平成 24 年 農林大学校に改称、有機農業専攻を新設、森林管理科を林業科に改称



教育の目的と基本方針

目的	次代の島根県の農林業をリードする農業者及び林業技術者の養成
基本方針	<ul style="list-style-type: none">● 高度な農林業技術と専門的知識を習得し、経営管理能力を養う。● 広い視野に立って農林業を考え、技術革新、経営改善に積極的に取り組み、新しい農林業を創造する能力を養う。● 先見性を持って流動的な社会情勢に対応するための分析力、判断力、行動力を養う。● 農林業生産及び農山村社会におけるリーダーとして必要な指導力、企画力、調整力を養う。
教育の特徴	<ul style="list-style-type: none">● 実習を重視した実践教育 午前講義、午後実習が日課の基本／毎日が必須授業／農業者、林業技術者になるための専門学習に特化
	<ul style="list-style-type: none">● 学生主体のプロジェクト学習 講義で学習したことを実習を通じて実践的・総合的に学習／学生が各自のテーマを持ち、主体的に実習に取り組む

教育体系

本校には養成部門と研修部門の2部門があります。

養成部門

高校卒業程度を対象にした2年間の学習課程

研修部門

新規就農希望の方、農林業経営の改善を図りたい方などのためのさまざまな研修を実施

養成部門

- ・入学資格は高校卒業程度
- ・希望入寮制

科名	専攻	定員	修業場所	修業年限
農業科	有機農業	30人	大田市波根町	2年
	野菜			
	花き			
	果樹			
肉用牛				
林業科		10人	飯石郡飯南町上来島	

農業科

有機農業専攻



本専攻は平成24年度に全国に先駆け新設されました。有機農業の理念や、水稻と野菜の化学肥料や化学農薬を使わない土づくり、病虫害対策、雑草対策や有機JAS認証制度を学び、栽培技術を実習で習得します。また県内の有機農業実践農家6経営体（グループ）による現地事例の講義や視察、農家体験受入れを通して有機農業の実践的で幅広い考えを習得できます。

本専攻は平成24年度に全国に先駆け新設されました。有機農業の理念や、水稻と野菜の化学肥料や化学農薬を使わない土づくり、病虫害対策、雑草対策や有機JAS認証制度を学び、栽培技術を実習で習得します。また県内の有機農業実践農家6経営体（グループ）による現地事例の講義や視察、農家体験受入れを通して有機農業の実践的で幅広い考えを習得できます。

野菜専攻



本県の主要野菜であるメロン、トマト、きゅうり、いちごなどの栽培に取り組んでいます。野菜の基礎をしっかりと学習しながら、学生自らが1棟ずつハウスを担当して栽培計画を作成し、育苗から収穫・出荷まで、責任を持って栽培管理を行うことで、一貫した栽培技術と経営感覚を身につけます。また、新技術としての島根型養液栽培システムや、美味しまね認証を取得してトマトの栽培や販売を行うなど、新たな取り組みにも挑戦を続けています。

本県の主要野菜であるメロン、トマト、きゅうり、いちごなどの栽培に取り組んでいます。野菜の基礎をしっかりと学習しながら、学生自らが1棟ずつハウスを担当して栽培計画を作成し、育苗から収穫・出荷まで、責任を持って栽培管理を行うことで、一貫した栽培技術と経営感覚を身につけます。また、新技術としての島根型養液栽培システムや、美味しまね認証を取得してトマトの栽培や販売を行うなど、新たな取り組みにも挑戦を続けています。

果樹専攻



本県の主要果樹であるぶどう、西条柿、梨をはじめ今後消費拡大が期待されているブルーン、サクランボ、スモモ等を栽培しています。ぶどうのシャインマスカットや梨のなつしずく等の新品種や養液土耕栽培システム、ジョイント仕立て等の新技術を導入しながら、先進的果樹経営を目指して、日々の実践を通じて栽培技術・知識を習得します。

本県の主要果樹であるぶどう、西条柿、梨をはじめ今後消費拡大が期待されているブルーン、サクランボ、スモモ等を栽培しています。ぶどうのシャインマスカットや梨のなつしずく等の新品種や養液土耕栽培システム、ジョイント仕立て等の新技術を導入しながら、先進的果樹経営を目指して、日々の実践を通じて栽培技術・知識を習得します。

林業科



森林の適切な管理方法や高性能林業機械を使用した木材の伐採、搬出など「森林を守り・育て・活かす」という視点に立って、森林・林業に関する知識や技術を実習中心のカリキュラムを通じて習得します。2年生の専攻実習においては「森林プランナーコース」と「森林エンジニアコース」のいずれかを選択し、森林経営の企画・提案力の向上、効率的な木材生産技術の向上に取り組めます。

森林の適切な管理方法や高性能林業機械を使用した木材の伐採、搬出など「森林を守り・育て・活かす」という視点に立って、森林・林業に関する知識や技術を実習中心のカリキュラムを通じて習得します。2年生の専攻実習においては「森林プランナーコース」と「森林エンジニアコース」のいずれかを選択し、森林経営の企画・提案力の向上、効率的な木材生産技術の向上に取り組めます。

花き専攻



きく・トルコギキョウ・シクラメンなどの「島根の花」振興品目を基本とし、学生の主体性を重視して、栽培計画の作成、栽培（播種・育苗・栽培管理・収穫）、出荷、結果の発表と、栽培から販売まで一貫した栽培技術と経営感覚を取得します。また、環境にやさしい花き栽培を認証するMPS認証や花育など、「ここでしか学べない」ことにも挑戦しています。

きく・トルコギキョウ・シクラメンなどの「島根の花」振興品目を基本とし、学生の主体性を重視して、栽培計画の作成、栽培（播種・育苗・栽培管理・収穫）、出荷、結果の発表と、栽培から販売まで一貫した栽培技術と経営感覚を取得します。また、環境にやさしい花き栽培を認証するMPS認証や花育など、「ここでしか学べない」ことにも挑戦しています。

肉用牛専攻



優秀な肉用牛経営の担い手を育成するため、家畜飼養管理、家畜栄養飼料、家畜繁殖、牛胚移植概論及び畜産経営などを学び、畜産に必要な幅広い知識を身に付けます。農場では繁殖・肥育一環経営を軸に肉用牛の生産・管理技術を身に付け、大型農業機械による飼料作物の栽培・収穫・貯蔵技術を実践します。また、家畜人工授精師、削蹄師、家畜商や大型農業機械などの資格にも挑戦します。

優秀な肉用牛経営の担い手を育成するため、家畜飼養管理、家畜栄養飼料、家畜繁殖、牛胚移植概論及び畜産経営などを学び、畜産に必要な幅広い知識を身に付けます。農場では繁殖・肥育一環経営を軸に肉用牛の生産・管理技術を身に付け、大型農業機械による飼料作物の栽培・収穫・貯蔵技術を実践します。また、家畜人工授精師、削蹄師、家畜商や大型農業機械などの資格にも挑戦します。

在校生からのメッセージ

私の所属している有機農業専攻では、化学肥料や農薬を使わない環境に配慮した農法を用いて栽培を行っています。私は農業科のある高校を卒業しましたが、有機農業について学ぶのは初めてだったので、不安でしたが、先生や先輩方が一つ一つ丁寧に教えてくださり、少しずつ作業をこなしていけるようになり、どうすれば効率よく作業できるのかを考えて行動できるようになりました。

1年生の時は先輩に付いて作業の手伝いをしたり、収穫や調製の手伝いをするのがメインになります。その中で作業の内容や機械の操作方法、調製の仕方などを学んでいきます。そして、2年生になると卒論プロジェクトが始まります。どの作物を用いて何を調べるのか、何が必要なのか、肥料や堆肥はどれくらい必要なのか全て自分たちで決めなければなりません。分からない事が多く、大変な事の方が多いですが、皆一生懸命取り組んでいます。

毎日少しずつ成長していく野菜たちは、観察しているだけで楽しく、様々な表情をします。その少しの変化に気づくと、もっと栽培が楽しくなるし、「こうすればいいのではないか」というアイデアも思いつきます。そんな感動をみなさんも味わってみませんか？

農業経験者はもちろん、未経験者の方でも、農業に興味のある方、ぜひこの農林大学校で私たちと、これからの農業を担う一人として一緒に楽しく勉強していきましょう！



有機農業専攻2年
山田 愛海



野菜専攻2年
高瀬 祐貴

野菜専攻では、2年生9人、1年生4人の合計13人で日々の実習に取り組んでいます。1年時には作物を育てる基礎的な知識、技術を身に着けることができます。また、他専攻に行つて実習を行う機会もあり、幅広く学ぶことができます。

1年生の後半からは、一人一人が育てたい野菜を決め、テーマを設定して栽培を行う卒業論文プロジェクトが始まります。一人が1棟のハウスまたは露地畑での栽培を任せられます。日々の作物管理はもちろんのこと、ハウスの整備等も自分で取り組んでいきます。私はトマトの養液栽培をしています。管理するハウスには島根型養液栽培システムが導入されています。養液栽培の管理作業は、天候や生育に合わせて与える養液の量や濃度を変えなければならぬため難しいこともありましたが、初めて自分の育てた野菜を収穫した時の喜びは大きく、他の学校では味わえないやりがいと達成感があります。休日も作物の管理や観察、ハウス管理などがあり大変ですが、きっと将来に役立つ経験です。

農業に興味のある方、農林大学校でともに学んでみませんか？野菜専攻でお待ちしています。

私は、普通高校から農林大学校に入り、そこで初めて花について学び始めました。知識ゼロからのスタートでしたが、毎日の実習や授業、当番を通して、日々沢山のことを学んでいます。このような私が農林大学校を志望した動機は、高校時代、授業の一環で農林大学校に行く機会があり、実習の体験を経て農業の楽しさを知ったからです。中でも花のガーデニング実習はとても勉強になり、さらに一層興味が湧いたため花き専攻に進学しました。

花き専攻では主に切り花と鉢物の2つに分かれており、切り花はトルコギキョウを、鉢物はシクラメンを中心とした島根県の主要な花き類について学んでいます。最近では、花育にも力を入れており、近くの保育園や小学校の子どもたちとふれ合いながらやっています。農林大では基本的に午前中は講義、午後は実習というカリキュラムです。午前中の講義では農業機械や病害虫の防除など農業に必要な知識を学びます。午後の実習は、播種作業、定植、収穫・調整、病害虫の防除など実践技術が習得できます。



花き専攻2年
上田 優生

どの作業も大変ですが、収穫作業を終えた後は達成感があり、やりがいを感じることができます。イベント事も沢山あり、また、就職や自営農業に役立つ色々な免許や資格などを取得することができます。

農業に興味がある方、お花が好きの方、農林大に入って一緒に勉強してみませんか。

イベントカレンダー

4月

入学式



5月

春季スポーツ大会
鳥取農大交歓会

6月

就農ガイダンス

7月

農大祭
就職セミナー
オープンキャンパス



8月

夏季スポーツ大会
オープンキャンパス

9月

前期試験
先進農林業者体験学習(2年)



10月

県外(大阪)学習(2年)
中国地区農大生の集い

11月

農林大市場
秋季スポーツ大会



12月

日本農業技術検定

1月

冬季スポーツ大会
中国四国農業大学校プロジェクト発表会
卒論課題発表会



2月

就職セミナー
全国農業大学校プロジェクト発表会

3月

後期試験
卒業式

農林高校で学んだ知識を活かし、さらに実践的な技術を身につけるために私は農林大学校に進学しました。そして今は、果樹専攻に所属しています。

果樹は10年から40年と長い間ずっと育てていく作物なので、日々の管理にはとても気を遣います。しかし果実を収穫して、食べた時にはとてもやりがいを感じます。手をかけた分だけ樹も応えてくれている気がします。それと1年1年で違う顔を見せてくれるところや、樹の形を自分達の好きな形に作れるところに魅力を感じています。

こうして日々の実習や生活を送っていると、あっという間の1年だったと今は感じています。入学した頃は上手くやっていたか不安でした。しかし農林大学校では先生や先輩との距離も近く、とても親身になってくれるので、いつの間にか不安もなくなっていました。それだけ楽しい学校生活を送れるのはここだけだと思っています。

農業に興味のある人、そして何より学校生活を楽しまたい人、ぜひ農林大学校に来てください。果樹専攻で待っています。



果樹専攻2年
武田 脩

私は、肉用牛専攻で主に牛の飼育管理や飼料作などについて学んでいます。授業に加えて現場実習や朝と昼の農場当番があって、体力的につらいときもありますが、充実感でいっぱいです。生き物が相手なので思い通りにならないこともありますが、それでも毎日、牛たちと真剣に向き合って実習に取り組んでいます。特に、実習では、専攻の仲間とのチームワークが大切だと感じています。そして自分自身は、学習と周りとのコミュニケーションを両立できるように意識しています。2年生になった今、卒論に本格的に取り組むようになり、卒業後の進路に向けた取り組みも本格化して、1年生のときと比べてさらに忙しい日々を過ごしています。本校は学びながら“自分磨き”を続けていける環境だと思います。また、私は通学でしたが、途中から寮に入寮しました。寮生活は楽しく、何より自分の時間がとれるのでオススメです。農林大で仲間と一緒に学んでみませんか？



肉用牛専攻2年
大谷 湧

私は高校の時に普通科に在学していました。そこから農林大学校の林業科に進学しました。林業に関する知識の全くない状況で大学校生活が始まりました。農林系高校から入学した同級生も多く、座学や実習について行けるかどうか不安もありました。また、初めての一人暮らしで自炊や洗濯など、上手くできるのかが不安でした。しかし、先生方や先輩達に優しく教えていただき、同級生ともすぐに仲良くなり、入学してすぐにその不安は解消されました。

林業科は飯南キャンパスで学んでおり、農業科の学生とは別の場所で生活していますが、農業科のみんなともスポーツ大会と一緒に汗を流したり、農大祭などで交流があります。また、鳥取農大との交流会や中国ブロック農大生のつどいなど、他校との交流もあります。

ほとんどの学生が寮生活で、高校時代から知っている友人もいなかったのですが、最初は緊張しましたが、一緒に鍋やバーベキューをしたり、一緒にお風呂に入ったりして、だんだんと仲も良くなり、今ではお互いに協力して生活しています。

学校は2年間という短い期間ですが、その間に大切な友人ができるし、様々な技術や資格も取得できるので、その技術を生かして将来働いていきたいと思っています。

是非、島根県立農林大学校に入学してきてください！



林業科2年
山本 樹

農林大の一日

8:40~	8:50~10:20	10:30~12:00	12:00~13:00	課業準備	13:20~14:50	15:10~16:40	~17:00
HR	午前 1限(90分)	午前 2限(90分)	昼休み		午後 3限(90分)	午後 4限(90分)	課業整理
	午前は講義中心				午後は実習中心		

教育科目

農 業 科	共通科目		農業概論、作物概論、植物生理、土壤肥料、作物保護、農業気象、園芸施設、農業機械、農業機械演習、農業経営、マーケティング概論、マーケティング演習、農業政策、アグリビジネス、食の安全安心、農業組織論、野生鳥獣被害対策、環境保全と農業、農業簿記、農業簿記演習、情報処理、農業基礎実習 ほか
	専 攻 科 目	有機農業	有機農業、有機稲作、有機農業先進事例講義、専攻実習（有機野菜・有機稲作）、地域農業実習、地域有機農業体験実習（先進農家での有機栽培体験）、先進地農林業者等体験学習
		野菜	園芸各論（野菜）、専攻実習（野菜）、地域農業実習、先進地農林業者等体験学習
		花き	園芸各論（花き）、専攻実習（切り花、鉢花等）、地域農業実習、先進地農林業者等体験学習
		果樹	園芸各論（果樹）、専攻実習（ぶどう、柿、梨、いちじく等）、地域農業実習、先進地農林業者等体験学習
	肉用牛	家畜飼養管理、家畜繁殖、家畜栄養飼料、草地飼料、家畜解剖生理、家畜審査、家畜育種、家畜衛生、牛胚移植概論、畜産経営、専攻実習、地域農業実習、先進地農業者等体験学習	
林業科		林業概論、森林マネージメント、森林計画、樹木、森林測樹、基本測量、応用測量、林業経営、林業機械、森林作業システム、森林機能、森林路網、育苗技術、育林技術、森林保護、木材利用、木材流通・販売、森林資源活用、森林土壌、木造建築、情報処理、専攻実習、先進地農林業者等体験学習	

先進農林業者等体験学習

2年生時に、先進的農林業地域や農林家で行う体験学習です。

目的	農林業経営及び農林業での生活を体験し、農林業に関する知識や技術を習得するとともに、農林業の担い手としての意欲の醸成を図る
受入農林業者等	農林業後継者の教育に理解と熱意のある、優れた農林業経営を行っている農林業者、又は農業生産法人、林業事業者等
期間	農業科はおおよそ1か月、林業科はおおむね3週間

資格・免許

在学中、次の免許又は資格等が取れるように指導・便宜を図ります。

●全科共通

- ◇大型特殊運転免許 ◇フォークリフト運転技能者
- ◇ボイラー取扱技能者 ◇狩猟免許（わな猟免許）
- ◇車両系建設機械運転技能者（整地・運搬・積込及び掘削用）
- ◇毒物劇物取扱者（一般、農業用品目）
- ◇危険物取扱者（乙種4類） ◇けん引免許（農耕車限定）
- ◇ガス溶接 ◇小型移動式クレーン運転技能者
- ◇日本農業技術検定 ◇刈払機取扱作業者

●花き専攻

- ◇フラワー装飾技能士（2級・3級）
- ◇色彩検定

●肉用牛専攻

- ◇家畜人工授精師
- ◇家畜商
- ◇削蹄師

●林業科

- ◇林業種苗生産事業者
- ◇林業架線作業主任者
- ◇機械集材装置運転者
- ◇玉掛け技能者
- ◇チェーンソー作業従事者
- ◇森林情報士（2級）
- ◇救急法救急員
- ◇車両系林業機械運転業務従事者



林業架線

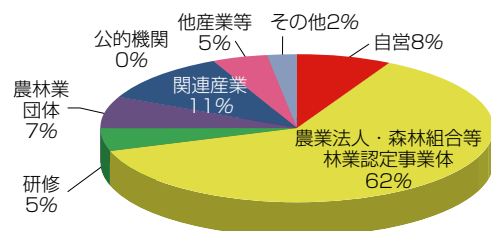


溶接

進路

卒業後の進路は、すぐに就農・就業（自営や農業法人、森林組合等に就職）する人、農協などの農業団体や農業資材販売など農業関連企業へ就職する人など多様ですが、それぞれの目標に向かって進みます。

本校では無料職業紹介事業を実施しており、個々の学生に応じた進路相談を行っています。



卒業生の進路状況（過去3年間：87名）

主な進路（H28、29年度実績）

- 自営就農：有機農業、野菜、果樹
- 農業法人等：勝部農産、旭養鶏舎、ゆとりの里下古志ファーム13、イオンアグリ創造、島根ワイナリー、藤若農産、岡農園、だんだん牧場、アグリベスト奥出雲農園、中国牧場、ライスフィールド、岡野農場、あかつきファーム今在家、J A アグリ開発、出雲製茶、かつべ種畜牧場
- 農業団体：J A しまね
- 森林組合等：森林組合（松江、出雲地区、飯石、大田市、邑智郡）、須佐チップ工業、山興緑化、浜田樹苗園、千歳林業、樋口農園
- 関連産業：ジュンテンドー、ヤンマー農機中四国カンパニー、サザンクロス、プライダルギャラリー・ノバ、上口福祉会、若幸会

学校行事

- 農大祭をはじめ、スポーツ交流会、鳥取農大との交歓会など、学生自治会が中心になって運営しています。
- オープンキャンパス「緑の学園」を夏に開催しています。（平成30年は7月27日、8月1日、5日、20日（20日は農業科は午後のみ））

研修部門

農林大学校では、これから農業を始めようとする方などを対象に、各種の研修を行っています。
各詳細については別途お問い合わせください。

これから農業を始めようとする方への研修

研修名	内容	対象者	開催時期
島根県農業担い手育成研修	新たに就農しようとする方を対象とした農業技術研修で、有機農業・野菜・花き・果樹・畜産（肉用牛）のうち希望する分野で講義及び実習を通じて基礎的な栽培・飼育技術を身につけることができます。	新たに就農する方 定員 5名	4月～翌3月
有機農業実践研修	農林大学校ほ場での栽培実習と講義を通して、有機栽培の基礎知識・栽培技術等を習得します。	有機栽培実践者 有機栽培予定者 定員 10名	5月～10月 (週1回、全22回)
野菜実践研修	農林大学校ほ場での栽培実習を通して、野菜経営の基礎知識・栽培技術等の習得を行います。	島根県へのU・Iターン者等 (予定者を含む) 定員 5名	5月～10月 (週1回、全17回)

林業技術を高めたい方への研修

研修名	内容	対象者	開催時期
林業エンジニア研修	林業の生産性向上を図るため、小面積皆伐地における効率的な作業システムの導入・運用に必要な、専門的かつ高度な知識・技術を備えた人材及び林業架線作業技術者を育成します。	認定事業者の現場技術者等	林業架線作業（基礎・応用）・簡易架線集材コースを設定 5月～10月の間に各2～10日間実施

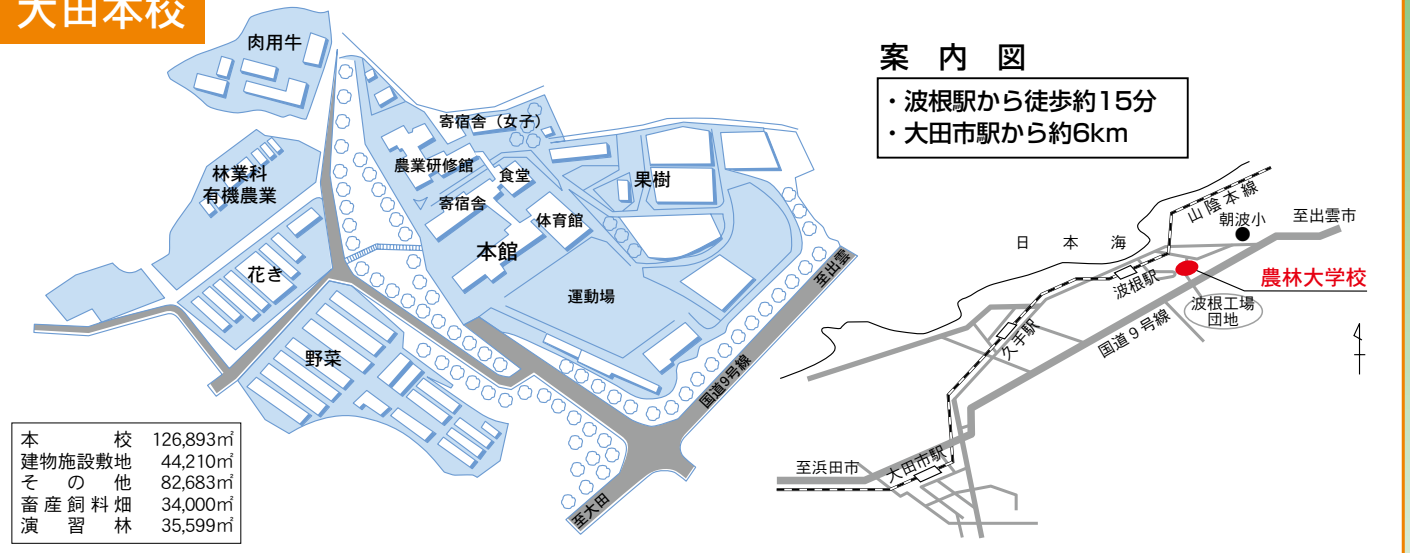
その他の研修

研修名	内容	対象者	開催時期
しまねの農林業体験教員研修	県内の小中高校教員を対象に、農作業体験等を通じて農林業に対する理解促進や、農林業体験学習への取り組みを支援します。島根県教育委員会の後援研修です。	県内小中高校教員 定員 30名	8月中旬（2日間）
しまねアグリビジネス実践スクール「農福連携指導者養成コース」 主催：島根県農業経営課	福祉事業所の職員などを対象に、果樹・野菜の農作業の仕方を実技中心に習得し、障がい者のみなさんに適切な作業をしていただくための指導技術を学ぶ研修です。	福祉事業所職員、特別支援学校教員等 10名程度	4月～翌2月 毎月1、2回程度



農林大学校 施設・設備 配置図

大田本校



清友寮(せいゆうりょう)
農林大学校敷地内にある男子寮です。
部屋は一人一室です。



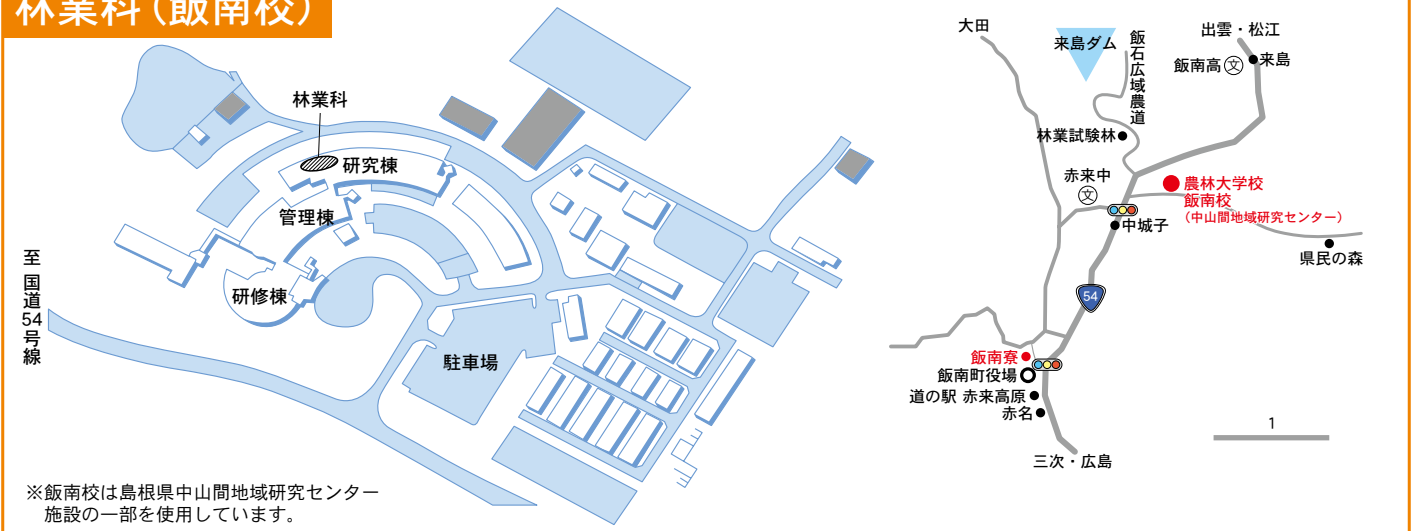
友波寮(ゆうなみりょう)
農林大学校敷地内にある女子寮です。
部屋は一人一室です。



飯南寮(いinanりょう)
飯南校から約3kmの地点にある学生寮
(男女)です。部屋は一人一室です。

※清友寮・友波寮は有線・無線LAN、飯南寮は有線LANによるインターネット接続が可能です。

林業科(飯南校)



島根県立農林大学校

ホームページやfacebookで学校の様子を随時掲載しています。
【新着情報】をチェックしてみてください。



(大田本校)
〒699-2211 島根県大田市波根町970-1
TEL 0854-85-7011 FAX 0854-85-7113
(林業科)
〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207
TEL 0854-76-2100 FAX 0854-76-2103
E-mail nodai@pref.shimane.lg.jp
ホームページ <http://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>
facebook <https://www.facebook.com/shimane.norindaigakko/>